

講演会 活字中毒、書物の未来

講師 上野 千鶴子



撮影 清水梅子

『おひとりさまの老後』などの著者で、社会学者である上野千鶴子さんをお迎えし講演会を開催します。

これまで読まれた本などを通して、社会学者となつたきっかけや、これからの本の可能性についてお話しいただきます。ぜひご参加ください。

日付：平成27年 **7**月**5**日(日)

時間：13:30～15:30

場所：えんぱーく3階 多目的ホール

定員：120名(申し込み先着順)

参加費：無料

申込開始：6月1日(月)

申込方法：お電話または、図書館本館総合カウンターで直接お申し込みください。

上野 千鶴子(うえの ちづこ)

社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長。
1948年富山県に生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了、平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護問題にも関わるなど幅広く活躍している。
1994年、『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)にてサントリー学芸賞を受賞。ほかに『おひとりさまの老後』(法研)、『男おひとりさま道』(法研)、近刊に『何を怖れる』(岩波書店・共著)、『老い方上手』(WAVE出版・共著)など多数。最新刊『ケアのカリスマたち』(亜紀書房)が2015年3月に発売。

【申し込み・お問合わせ先】

塩尻市立図書館本館 電話番号：0263-53-3365(毎週水曜休館)

主催 塩尻市・塩尻市教育委員会
企画 長田 洋一(編集者・元河出書房新社『文藝』編集長)
顧問 永井 伸和・熊沢 敏之・常世田 良
後援 塩尻書店組合・長野県出版協会・長野県図書館協会・信州大学・松本大学・朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タイムス・中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局・松本平タウン情報・読売新聞長野支局・エルシーブイ(株)・テレビ松本ケーブルビジョン・abn長野朝日放送・NBS長野放送・NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州・榊郷土出版社・日本ハイコム(株)